

いわゆるバイオインフォマティクスを実施し、生物学実験は原則行いません。ゲノムやメタボロームを中心に生態系や生命全体を見渡す研究をしています。学生には海外渡航を勧め、多様な環境を経験してもらっています。

最近の学生による研究例

M Satti (2021年9月学位。米国ポスドク): 「ビフィズス菌属の糖代謝と宿主の関係」

草食・雑食など、食餌によりビフィズス菌の糖資化遺伝子が異なることを明らかにしました。ボローニャ大学（伊）との共同研究です。

M Noureen (2021年9月学位。米国ポスドク): 「世界のピロリ菌ゲノム構造」

世界中のピロリ菌ゲノムを比較し、アジアやオーストラリア特有のリアレンジメントを明らかにしました。米国NCIとの共同研究です。

竹中伸巧郎 (2022年学位取得予定): 「乳酸菌属の水平伝搬遺伝子と糖代謝」

24属178菌株の乳酸菌を比較し、糖代謝能の豊富さと水辺伝搬遺伝子との関連を見出しました。

D Zakaria (2020年10月入学): 「ビブリオ属の分泌装置 T3SS の解析」

大腸菌なども持つ T3SS と呼ばれる分子機械の進化や分布を調べています。

教員による論文・取得する研究費

有名誌への論文掲載もおこなっていますが、商業学術出版の仕組みをどう変えたらよいかを考えています。

10月に岩波科学ライブラリーより「学術出版のきた道」を出版します。

具体的な論文は ResearchMap や Google Scholar において教員名を検索してください。実験系と連携しつつ年間10報程度、論文を発表しています。現在は、メタボローム向けデータベース、脂質向けデータベースの開発、新型コロナウイルスの解析などが主研究テーマです。

ラボメンバー（コロナ前の写真です）



研究方針

データや成果を再利用できるように幅広く公開することを心掛けています。**DDBJ**という公共データベースの運営も行っています。

DDBJについて：<https://www.ddbj.nig.ac.jp/>
連絡先：arita@nig.ac.jp

今年はいれ替わりが多いため、年末時点でのメンバーリストです。

教授 有田正規

（理研 CSRS を兼務。理研にもチームあり）

助教 川島武士（犬山在住、今年度限り）

DDBJ 特任准教授 櫻井望（メタボロミクス）

特任研究員 細木藍（センサー開発）

特命准教授 クリュコフ・キリル
（コロナゲノム解析 10月着任）

特任研究員 時松敏明（メタボロミクス）

技術補佐員 吉本美和（脂質分析, メタボロ）

技術補佐員 パク・ジェヒョク（10月着任）

秘書 榎、村方、山本（DDBJ 運営があるので多くいます）

学生1年目：ドゥアー・ザカリア

学生は募集中